

事業名	子どものための今すぐはじめる森と木のある暮らし事業			
事業区分	主となる区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興		
	関連する区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興		
		(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興		
総合5か年計画区分(※)	主となる区分	(※) 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		
	関連する区分	(※) 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		
事業タイプ	ソフト			
重点テーマ	(2) ②地域の特色ある産業の振興			
実施箇所	根羽村内及び飯田市内の小中学校付近に存在する森林(里山)			
実施期間	事業開始予定年月日	令和	2年	4月 20日
	事業終了予定年月日	令和	3年	3月 10日
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">①事業目的</div> <p>事業目的 南信州及び矢作川流域の小中学生を対象に、普段の生活の中に「森や木のある暮らし」が実践できるように、身近に存在する里山を活用して、森林整備や木を活用する体験プログラムを造成する。この体験活動を通して、小学生時から、主体的に身近な里山空間を魅力的な森林空間及び生活空間に変えていく「プレイスメイキング」のできる感性及びセンスを身に付けさせる。また、地域材住宅「小さく住まう魅力的な木の住まい」のパンフを作成し、子どもたちに木育の視点から子どもたちにわかりやすく木の住まいの魅力を伝えるパンフレットを作成する。</p> <p>背景 南信州地域には身近な生活空間に里山が多い。しかし、現在の小学生が普段森に入り森林の整備を行ったり、森の中で遊んだりすることは全くない。豊かな自然に囲まれ、信州ならではの感性が磨かれる環境が身近にあるのに、こうした自然を活用した活動が普段の生活の中に位置づけられていない。将来、森林県である長野県の人材育成の面からも、こうした幼少期での里山における原体験不足は課題と考えられる。こうした事態は、指導する立場にある小学校の先生方をはじめ現在の大人が、幼少や青年期に身の回りに豊富な里山環境がありながら自然に触れる機会がほとんどなかったために、現在こうした取り組みに対する指導者が育成されてこなかったことに要因があると考えられる。また、将来地域材による「木の家」に住んでもらうためには、木の家魅力を小学生時代に原体験として体感してもらい、今そうした木の住まいの魅力をやさしくわかりやすく伝えるパンフレットがなかなか見当たらないため、今回新たにパンフを作成し、子供たちに地域の森林から魅力的な木の住まいが建てられることを伝えたい。</p> <p>必要性 当NPOは、根羽村森林組合職員が指導者として、幅広い地域で「木育活動」を展開しており、ファミリー層を中心に木の楽しさやその魅力を伝えている。こうした活動時に、もっと森の話をしてほしい、もっと森の整備を教えてほしい、簡単な森の中の居場所づくりを教えてほしい、という声を聞くことが多い。また、南信州の一部の小学校では、森づくりや木づかいに積極的に取り組んでいる。</p>			

そこで、そうした小学校をモデル校と位置づけ、将来、森林県長野県において、森林系の一次産業に従事しようとする後継者確保に結びつく、森づくりや木づかいの原体験となる森林整備や木を活用する体験プログラムを造成し、こうした場面を提供していくことが必要である。今後、こうした取り組みをテキスト化し、地域住民と子どもたちが一体となって魅力的な里山空間を創造していきたい。

②事業内容(モデル的で発展性のある事業である理由についても記載)

事業概要

事業内容 ①里山における子どもによる階段材料づくり・階段設置・歩道整備
②里山における子どもによるウッドデッキづくり
③里山における子どもによる木の枝工作材料の確保
④里山における子どもによるロープワークによる材料運搬
⑤里山における子どもによる里山ゾーニング・プレイスメイキング
⑥里山における子どもの「木の家」の住まい体験
これらの活動に必要な道具の購入及びパンフの作成

実施時期 令和2年4月20日～令和3年3月10日

場所 根羽村 根羽村小学校、飯田市 三穂小学校及び千代小学校

規模 各小学校の子ども及びファミリーによる上記事業内容の実施

方法 申請に伴う里山活用道具により、里山プレイスメイキングを実施

発展性 こうした里山の自然を活用できる道具を子どもに与え、使いこなせるように指導することにより、こどもが主体性を持って、地域住民と共に里山のプレイスメイキングが可能となる。また、こうした事例をテキスト化し、広く普及することにより、里山の自然の中で感性を育まれた森林県信州ならではの森林・林業等の一次産業系人材育成が可能となる。また、森づくり活動については、飯伊森林組合の、木づかい工作等については、長野県飯田技術専門校の協力を得られていることから、人材育成における知見が得られる。構想的には、今後こうしたNPOや森林組合による木育活動や人材育成の活動に対する支援措置として、現在各自治体に交付されている森林環境譲与税を財源として活用できればと考えている。都市部の多くの自治体は、森林環境譲与税の用途について、どのようにしたらよいかわからず検討しているので、こうしたモデル事例を作り都市部の学校が南信州の里山で森林体験学習ができる環境ができると良いと思われる。また、別添の「森林ESD」資料のとおり、森林や里山を活用し子どもの資質・能力を重視した森林環境教育の視点からも今後、こうした林業最前線からの取り組みの重要性が指摘できる。

③事業効果(可能な限り数値化をすること)

- ①NPOにおける子どものための里山体験プログラムの確立
- ②森林県長野県における森林組合職員による子どものための森林林業人材育成
- ③各小学校における木育活動・森林ESD活動の事例づくりとその普及
- ④子どものアイデア・ゾーニングによる主体性のある里山木育活動の実践事例

④広報表示(表示場所、内容等について記載)

- ①取り組み事例について、根羽村森林組合、飯伊森林組合のホームページ及び広報等で紹介

⑤特記事項((合意形成、諸手続、住民の参画等、特に説明すべき事項を記載)

- ①根羽村における子どもを対象とした農泊プログラムとしても活用予定
- ②各学校における総合学習の時間における地域一体的な里山活動参考事例
- ③森林ESD活動としての認識

※総合5か年計画区分欄の記載は、南信州地域振興局で記載します。

別紙(別記様式第1号関係)

◆実施内容別事業費内訳

区分	内容	積算(説明)	事業費a	対象経費b	補助率	支援金基本額c (b×補助率)	
ソフト事業	パンフ作成	パンフ作成費	見積書のとおり	788,000 円	788,000 円	3/4	3,603,750 円
	里山活動	道具費	見積書のとおり	2,697,000 円	2,697,000 円		
		材料費	見積書のとおり	1,320,000 円	1,320,000 円		
				円	円		
				円	円		
小計			4,805,000 円	4,805,000 円	3/4	3,603,750 円	
ハード事業	里山活動	発電機大	見積書のとおり	208,000 円	208,000 円	3/4	252,000 円
		発電機小	見積書のとおり	129,000 円	129,000 円		
				円	円		
	小計			337,000 円	337,000 円		
合計			(A) 5,142,000 円	(B) 5,142,000 円		(C) 3,855,750 円	

※市町村等の事業は、対象経費(b)は特定財源を控除した後の額を記載する。(特定財源を控除する内容が未
定の場合は暫定的に振り分けること。)

※支援金基本額小計欄は千円未満切り捨てとする。

◆特定財源内訳

特定財源	説明	金額
地方債		円
分担金・負担金・寄付金		円
事業収入	NPO活動収入	1,286,250 円
助成金		円
補助金	補助金名:	円
合計		(D) 1,286,250 円

◆支援金要望額

市町村等	総事業費 A	対象経費 B	支援金基本額 C	支援金要望額
	- 円	- 円	- 円	- 円
公共的団体等	総事業費 A	支援金対象経費 B	支援金基本額 C	
	5,142,000 円	5,142,000 円	3,855,750 円	
		特定財源 D	自己財源 E (A-D)	支援金要望額 (CとEのいずれか少ない額)
	1,286,250 円	3,855,750 円	3,855,750 円	

※公共的団体等の支援金要望額は、支援金基本額(C)と自己財源(E)を比較していずれか少ない額とし、千円
未満切り捨てとする。

(添付書類)

1 事業計画図書(位置図、見取図、設計図、設計書等) 2 公共的団体等の規約(会則)

3 予算書 4 見積書など事業費の積算根拠資料 4 その他地域振興局長が必要と認める書類
※事業内容、事業費内訳等については別紙(様式任意)添付での対応も可

子どものための今すぐはじめる森と木のある暮らし事業 参考資料

1 小学校を対象とした身近に存在する里山を活用して、森林整備や木を活用する体験プログラムの内容

- ①里山における子どもによる階段材料づくり・階段設置・歩道整備
- ②里山における子どもによるウッドデッキづくり
- ③里山における子どもによる木の枝工作材料の確保
- ④里山における子どもによるロープワークによる材料運搬
- ⑤里山における子どもによる里山ゾーニング・プレイスメイキング
- ⑥里山における子どもの「木の家」の住まい体験

2 小学校の選定

根羽小中学校

地元根羽村の小中学校であり、今後、近隣施設であるグリーンハウス森沢周辺の森林を活用して上記①～⑥の内容に取り組む予定である。また、令和元年度に子どもの居場所木質空間整備事業を実施しており、グリーンハウス森沢にウッドサウナが設置される。こうした、「子どもによる里山プレイスメイキング」のモデル地区として、ファミリーや地域住民、森林組合職員が一体となった里山活動を展開する。この他、ネバーランド周辺の里山においても森林環境教育をテーマとした取り組みを検討している。参加延べ予定人数は150人程度

飯田市三穂小学校

令和元年度に三穂公民館の近くに位置する君崎公園において、子どもの居場所木質空間整備事業により、根羽産材を利用したウッドデッキを設置した。このウッドデッキの近隣にはサクラ等の里山が存在しており、今後デッキを活用しながら、地域住民と共に上記①～⑥の内容に取り組む予定である。広葉樹も近隣に多いことから、ファミリーや地域住民の協力を得ながら、ナメコ栽培等にも取り組みたい。参加延べ予定人数は150人程度

飯田市千代小学校

以前に根羽村森林組合からしいたけ原木を納品した経過があり、また小学校付近にも里山が多く、総合学習の時間を活用した地域と一体とな

った取り組みを検討している。以前に森林学習結果を上手にまとめられたレポートを作成していただいた先生も在席しており、今後の里山活動のレポート作成も依頼している。よこね田んぼの土手に階段づくりを行う見込みである。参加延べ予定人数は 150 人程度

3 ロープ等の用途

ロープ 3 本 1 セットで一現場としており、用途は次のとおりである。

目的は里山活動において、簡単なロープワークをマスターすることにより、主体的な里山プレイスメイキング活動に導くことである。ロープの用途は次のとおりである。

①資材運搬用

里山の山間地におけるウッドデッキ資材運搬、階段材料運搬、ウッドデッキ活用資材運搬は相当な労力がかかる場所である。しかし、ロープをこうした運搬地の出発点と終点に張り簡易的な運搬器具を利用することで、楽に資材を運搬することが可能になる。また、資材を運びあげた達成感は大きく、子どもがお互いにパートを担当し、協力しながら資材運搬を行う作業は、想像以上に子どもを里山に導けると考えられる。

②ウッドデッキ及び作業場雨対策用

子どもに自由に山を歩いてもらい、里山でお気に入りの場所を見つけ、そこでテーマ性を持ったウッドデッキを製作させたい。また、ウッドデッキで木の枝工作を実施したり、森の中でゆっくり休憩する際にウッドデッキを使用してもらいたい。この際、天候的な支障を除くため雨避け又は紫外線避けが必要となる。この際にロープを張ることによって、簡易にこうした対応策ができるよう指導する。

③伐採時の伐倒方向確定用

子どもが木を伐採する際、できる限りかかり木は避けたいところである。そこで、事前に伐倒する木と伐倒方向の立木にロープをつけることで、伐倒木の重心及び伐倒方向を確定させて、安全な伐倒作業を身に付けさせる。

④その他道具類

これらのロープワークにカラビナ、簡易滑車、スリング、附属器具が必要な他、里山の魅力を高めるためのプレイスメイキングの際に、足湯や木工作を実施するため発電機 2 種(大・小)が必要である。

4 各学校の実施スケジュール

小学校名	総合学習の時間	公民館等地域活動	実施時期予定
根羽小中学校	○		6～11月
飯田市三穂小学校	○	○	6～11月
飯田市千代小学校	○	○	6～11月

5 土地所有者との合意形成

小学校名	実施場所予定地	備考
根羽小中学校	グリーンハウス森沢 周辺及び個人山	村及び個人の方の使用同意を得られている
飯田市三穂小学校	三穂公民館君崎公園	長野県の元気づくり事業及び子どもの居場所 事業に関連して実施する
飯田市千代小学校	学友林及び個人山	学友林及び個人山の使用同意を得られている

6 活動に伴う傷害保険の加入について

事業の実施にあたっては、旅行会社による掛け捨て傷害保険に加入する予定である。

7 木育・里山体験プログラムとしての今後の発展性について

今回の取り組みは、里山資源が豊富な南信州地域での小中学校を対象とした取り組みである。根羽村は安城市や刈谷市等の自治体、またアイシングループ等の企業等、矢作川を絆とした様々な上下流連携を実施しているところである。今回のこうした南信州地域の小中学生を対象とした木育・里山体験プログラムが確立されることにより、併せて、矢作川流域の自治体や企業等に関係する小中学生も対象とすることができ、南信州地域の関係人口の拡大に貢献することができる。

さらに、こうした南信州地域らしい林業や森林環境教育、木育等の里山資源を活かした里山体験プログラムは、青少年に自然に対する原体験を与え、将来森林や自然豊かな信州に関わるような仕事をめざす一次産業系・地域活性化系の人材育成にも結び付くと思われる。

8 「小さく住まう魅力的な木の住まい」紹介パンフの性格について

今回製作しようとする「小さく住まう魅力的な木の住まい」のパンフレットは、実際に地域資源を活かした木造の家が南信州地域に存在することを小中学生に伝え、こうした根羽村の「小さく住まう魅力的な木の住まい」とはどのようなコンセプトで建築されたものなのか、木材という地域資源の活用、快適性に配慮した木の住まいの性能や、木の家の魅力について、木育の視点から伝えようとするものである。

現在、小中学生を対象とした「木の住まい」のテキストがほとんど存在しない中、今回の紹介パンフにより森林資源の豊富な南信州でプロデュースされているひとつの「特産品」として「住まい」を認識してもらい、さらに、こうした「住まい」から、地域資源を活用して家をつくるとはどのようなことなのか、小中学生の時期から「木の家」の魅力を原体験的に伝えようとするものである。

併せて、こうしたパンフレットを矢作川流域に存在する小中学校に配布し、下流域の子供たちに「小さく住まう魅力的な木の住まい」が矢作川の源流の村、根羽村に存在し、こうした森林資源の活用が森林整備に結びつき、このことが森林の水源涵養機能や洪水緩和機能の発揮に

役立っていることも伝える。

9 根羽村森林組合及び飯伊森林組合との連携について

当 NPO では、様々な木育イベントを実施しており、様々な木育プログラムを実践してきた。今回 根羽村森林組合及び飯伊森林組合と連携することにより、地域の森林資源を活用した里山体験プログラムを造成し、里山に「森と人との共生林」を創り出し、その場所で小中学生やそのファミリーが憩える楽しい森林空間を創造しようとしている。この取り組みは、小中学校の総合学習の時間や地域の公民館活動により、実施していく見込みであるが、森林整備に関する分野であることから、両森林組合による実践指導や、こうした体験プログラムの造成について連携を図りながら、地域に根差した活動として定着させていきたい。当事業終了後でも、年に数回、継続的な里山体験プログラムを実施していく見込みである。

10 バッテリーチェンソーの活用について

地球環境や地球温暖化防止に配慮し、化石燃料をできる限り使わないよう配慮し、今回バッテリーチェンソーを導入しようとするものである。根羽村森林組合においても森林認証を取得し、ソーチェンのオイルについても生分解性オイルを使用するなど、生物多様性や環境に配慮した林業を推進しているところである。そこで、将来的な方向性として、世界的に自然エネルギーの活用や、化石燃料を使用しない動力機関を目指していることから、林業においてもバッテリー式とし、時代の要請に応えようとするものである。

なお、将来的には、山中では、山頂や山腹に太陽光発電によるバッテリーチャージャーを、麓では省水力発電によるバッテリーチャージャーを設置し、バッテリーを複数持つことにより現地でも充電が可能なシステムに切り替えていければと考えている。

11 「小さく住まう魅力的な木の住まい」紹介パンフの内容及び配布先について

今回作成しようとする「小さく住まう魅力的な木の住まい」を題材として、この住まいがどんなコンセプトで建築されたものなのか、木材という地域資源の活用、快適性に配慮した木の住まいの性能や、木の家の魅力について、木育の視点から伝えようとするパンフです。以下の内容を予定しています。木の住まいについて、森林から木の住まいまでトータル的に優しく解説するようなパンフをイメージしています。木の国日本に生まれたならば、森の民から最低限知っておいてもらいたい「木の住まい」のメッセージ的な事項としました。

内 容

- 1 根羽村に建てられている「小さく住まう魅力的な木の住まい」とはどんな家？
- 2 山の木が伐採され、加工されて、木の住まいになるまでの流れとは？
- 3 山の木が使われると地域や下流域の市民にとってありがたいこととは？
- 4 木の魅力・特性って何だろう？
- 5 木の住まいの魅力・快適性って何だろう？
- 6 木の家に泊まって、その魅力を感じてみよう
- 7 泊まった木の家を良く観察してみよう
- 8 木の住まいのデザインを楽しもう

配布予定先

別添資料

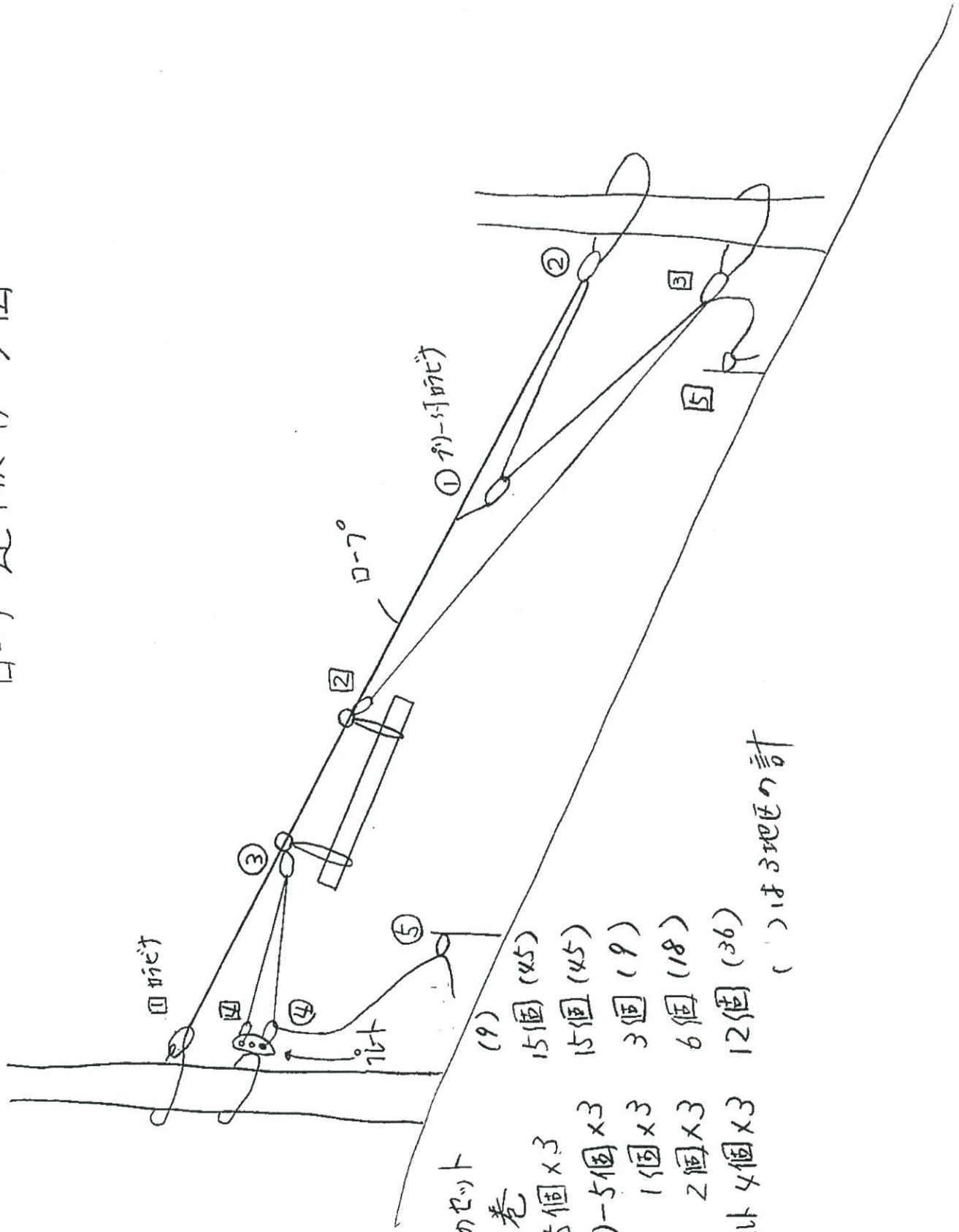
南信州地域の小中学生 13,310 人

安城市の小中学生 12,432 人

合計 25,742 人

実際は低学年も含むので調整有

口-7° 運搬機配置図



ニ
1地区のセリト

- 口-7° 3巻
- カクビチ 5個 x 3
- カクビチ(7-1) - 5個 x 3
- プレート 1個 x 3
- 7-1 - 2個 x 3
- スリ-プレート 4個 x 3

- (9)
- 15個 (45)
- 15個 (45)
- 3個 (9)
- 6個 (18)
- 12個 (36)

() は 3地区の計

スタート! 林業体験プログラム(案)

テーマ	皆のアイデアで「皆が楽しめる源流の森」を創ろう ワークショップによるオーダーメイドの山づくり ～皆のアイデアで魅力的な里山をつくろう～
対象地	森沢 27・28 林班・月瀬の大杉・茶臼山・小戸名溪谷・高橋
体験プログラムの趣旨	趣旨 村内の道から見えている身近な里山や溪流を皆が親しめる憩いの森林空間に変えていきます。皆が気軽に森の中で楽しむには? あなただったら森で何をしたいですか? 魅力的な森林空間はどのようにしたら創れるのでしょうか? こんなことを皆でワイワイガヤガヤやりながら、少しずつ皆のアイデアとやる気と本気度で「どうしても行きたくなってしまふような素敵な森と溪流」を創り上げていきましょう。 これは、地元の森林所有者と一緒に創り上げる新しい形の継続的な林業体験プログラムです。あなたのアイデアであなたが何度でも来たくなるような「あなたの森」をつくりましょう。
参加者	対象者 何度でも来たくなるような魅力的な森林空間づくりに興味のあるすべての方、新しい里山づくりにアイデアのある方、山仕事が楽しくて仕方のない方 参加にあたり 将来的には森林所有者の方と「田舎の親戚」契約を結んでいただき、今後の活動の拠り所となる「村の方と仲良く」なってもらいます。
地元森林所有協力者	秀彦さん、真人さん、秀美さん、樋口さん他、その後次第に増やしていきたいと思います
内 容	体験プログラムとして予定している内容 1 森の小道づくり・森沢からの周遊ルートづくり ①27・28 林班等を歩き回りながらのコンセプトメイキング ②森の小道づくり必要な階段材料を調達する伐採(間伐) ③間伐材による階段材料の造材と作成 ④ウインチ及び自力による林内から道端までの材料搬出 ⑤トラックロープ縛り実習 ⑥ウインチ及び歩荷による各小道への階段・デッキ材料搬入 ⑦森沢から三角点ピークを経て小戸名溪谷への小道づくり ⑧ボルダリング「△おむすび岩・幕岩」開拓の小道づくり ⑨森沢からに至る小道づくり

<p>内 容</p>	<p>⑩ア 山と溪谷コース 森沢→三角点ピーク→つるし岩→浅間神社→つたの滝 →小戸名溪谷→黒地溪谷→森沢までの周遊ルート開拓</p> <p>イ 食料調達コース 森沢→三角点ピーク→増男養魚場→森林組合ホダ場</p> <p>ウ ボルダリング・クライミングコース 森沢→△おむすび岩→クラック岩→トンネル岩→天狗岩</p> <p>エ 記念樹植栽・サクラお花見コース 森沢→秀美山</p> <p>オ 樹下植栽・BBQ・森寝・ヨガ・切株読書・ピザ窯・木の 工作コース 森沢→真人山・秀彦山・バターゴルフ場</p> <p>2 森の中の憩いの空間づくり</p> <p>①新緑、紅葉、景観、星空、朝日、夕陽、広葉樹、夜景、岩壁、 森の中の水源、頂上、大木、これらを結ぶ小道等、自然の豊 かさを楽しむためのウッドデッキ・テントサイルづくり</p> <p>②森林セラピー、森寝、ヨガ、クライミング・ボルダリング、 トレイルラン、ターザンロープ、スラッグライン、里山まで のダウンヒルロープ、読書デッキ、コーヒータイムデッキ、 森の読書デッキ、森の図書館、しゃくなげ等下層植栽、キノ コ・ワサビ・山取花木栽培、森の幼稚園、森寝、森の循環型 ライフスタイル・太陽光発電・省水力発電等の森の中で活動 するための施設・ウッドデッキ・テントサイルづくり</p> <p>③夜の森を楽しむ灯アイテムの製作</p>
<p>プログラム造成イメージ</p>	<p>造成予定講師 林業経営アドバイザー横山繁樹 NPO ねばりん 南木一美 クライミングジム 伊原白峰 トレイルランナー 重見さん 長野原竹宵の会 曾根原宗男さん ミズホ鋼機 小木曾さん</p> <p>① 森の小道探し・道づくり ② 森のコンセプトメイキングとアイテム設定 ③ 森の測量・データ把握の方法 ④ 間伐実習地確認と伐採搬出による階段作成 ⑤ ウッドデッキ材搬入、末木枝条搬出</p>
<p>想定しているアイテム</p>	<p>① 間伐材による階段 ② ウッドデッキ(3m×3m 木製タイプ・1畳アルミタイプ)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ③ 竹の灯 ④ テントサイル・空中テント ⑤ 6畳小屋キット(滝つぼサウナ) ⑥ 切捨て間伐材・末木枝条の搬出による炭化器具 ⑦ マキタ電動工具充電用発電機(太陽光・省水力発電) ⑧ ピザ窯
想定している参画企業・団体等	<ul style="list-style-type: none"> 1 アイシンググループ 2 安城市こもれび会 3 エコネット安城 4 デンソー 5 マキタ 6 養命酒 7 スノーピーク 8 BESS 南愛知 9 創建グループ 10 TOTO 11 信州大学農学部 12 岐阜女子大学 13 愛知教育大学 14 愛知大学 15 東京大学 16 東京農工大学 17 東京外語大学 18 根羽村小中学校 19 根羽保育園 20 矢作川流域圏懇談会(飯伊・豊田・岡崎・恵南森林組合含む) 21 全国スギダラケ倶楽部 22 安城市 23 豊田市 24 岡崎市 25 恵那市 26 国有林、長野・愛知県職員、市町村、地域活動団体、林野庁職員
対象者要素	<ul style="list-style-type: none"> ① クライミングファミリー ② チェンソー・ギア愛好者 ③ アウトドア志向 ④ オーダーメイドの山づくり ⑤ トレイルランナー ⑥ サスケ系 ⑦ ネイチャーゲーム

	<p>⑧ 森の幼稚園</p> <p>⑨ 森林セラピー</p> <p>⑩</p>
皆の検討会	3月9・10日
林業体験プログラムの導入方法	<p>この林業体験プログラムは「皆のアイデアで皆が楽しめる源流の森を創ろう」をテーマに、森林所有者の方々と連携して、参加者皆さんの活動によるワークショップ形式で継続しながら「皆の楽しめる森」を創ろうとするものです。</p> <p>皆さんを受け入れる施設がすでに万全に整っている一般的な体験プログラムではなく、こうした活動を通して森づくりの思想・技術・技能を身に着けながら、参加者の意向に沿ったオーダーメイドの山づくりを行うものです。</p> <p>従って、ここには大まかな活動予定がありますが、場合によっては皆さんのご意向で新しい展開もあり得ます。これから必要とされることは、こうしたユーザーと地元の村民が一体となって、自分達のふるさとをより魅力的に作り上げていく姿勢です。このために、「田舎の親戚」制度もつくる予定です。</p> <p>こうした林業体験プログラムの趣旨を踏まえ、継続的なご参加をお願いします。</p> <p>なお、体験プログラムに必要な資材の購入について、コンセプトメイキング終了後、皆様からの活動協力費として第1期クラウドファンディングを実施します。皆様のご協力をお願いします。</p>
スケジュール(案)	<p>5月27・28 林班等を歩き回りながらのコンセプトメイキング 森の小道づくり必要な階段材料を調達する伐採(間伐) 間伐材による階段材料の造材と作成</p> <p>6月 ウインチ及び自力による林内から道端までの材料搬出 トラックロープ縛り実習 ウインチ及び歩荷による各小道への階段・デッキ材料搬入 ウッドデッキ・テントサイル・空中テントづくり 竹の灯づくり</p> <p>7月 森沢から三角点ピークを経て小戸名溪谷への小道づくり ボルダリング「△おむすび岩・幕岩」開拓の小道づくり 森沢から秀美山に至る小道づくり 竹の灯設置 ピザ窯づくり</p> <p>8月 上記の継続作業、展開作業、ボルダリングオープン</p> <p>9月 以下毎月上記の継続作業</p>

根羽村 楽しい田舎体験プログラムと
楽しい田舎づくりワークショップ

根羽村では、皆さんが何度も来たくくなるような「楽しい田舎を体験していただくプログラム」と、参加者の皆さん独自のアイデア・コンセプト・企画を活かした「楽しい田舎づくりワークショップ」を実施します。

その内容は下表のとおりです。

(参考例)

テーマ	講師	内容	場所	対象月	種別
生で食べられるとても甘い朝採りトウモロコシ栽培にチャレンジ	鈴木伸二 南木一美	サニーショコラの栽培体験 4回と収穫体験1回	平森沢	4～8月	体験
炭焼き体験 炭窯による本格的な炭焼きを体験します	片桐龍男	炭焼き用窯入れ1回 点火1回 搬出1回	小戸名	4～8月	体験
アマゴ・アユの放流体験	西尾竹司	アマゴ・アユの稚魚放流	田島	4～8月	体験
一年中楽しめる田舎の美味しい郷土食づくりにチャレンジ	原 小夜子	郷土食づくり	森沢	4～3月	体験
田舎でパンづくり	山本 徹	パン・カルツォーネ	小戸名	10～11月	体験
里山のすべての魅力を楽しもう	石原 明治	里山遊びの総合プログラム	村内	4～3月	体験
幸せの山公園をつくろう	幸山明良	牛との触れ合い体験と幸せの山公園づくり	高橋	4～3月	体験・ワークショップ
皆のアイデアで「皆が楽しめる源流の森」を創ろう ワークショップによるオーダーメイドの山づくり	NPO・森林組合・村民・その他関係者	皆が遊べて楽しめる森林空間づくり	森沢	4～3月	体験・ワークショップ どちらかというハード

例えば、森の体験では、森林ヨガ、瞑想、ボルダリング、竹の灯の小道、朝日に会おう山頂デッキタイム、ソーダー水のような淵のある溪谷歩き、滝つぼーイオン浴等、山と溪谷ルート、花の山をつくろうとしています。

そこに、ツリーハウス、ウッドデッキ、テントサイル（グーグルで検索してください）、森のひと箱図書館、切株読書、ボトルキープデッキ、滝つぼサウナ、6畳ハウス、ターザンロープ等の施設を設置していく

こんなプログラムです。

木工では定番の木のペンダントづくり、表札づくり、弓矢づくり、わっぱづくり、お箸づくり、本箱づくり、木の枝工作等

郷土食では、しし鍋、しし鍋しゃぶしゃぶ、シカ肉コロッケ、シカ肉からあげ、根羽牛霜降り焼肉、アマゴ、トウモロコシ、五平餅、おもち等

ワークショップ形式で

お父さんは間伐や間伐材による階段・ウッドデッキづくり、またはボルダリング、お母さんやお子様は木工や郷土食や森林ヨガや滝つぼーイオン浴で過ごしてもらう

等、皆様のアイデア・企画で「楽しい田舎やふるさとを自分達の手で、根羽村民と一緒に創りませんか」。

とう言うことで、ぜひ皆様の企画・アイデアを一緒に形にしていきましょう。

南信州小中学校児童数一覧表

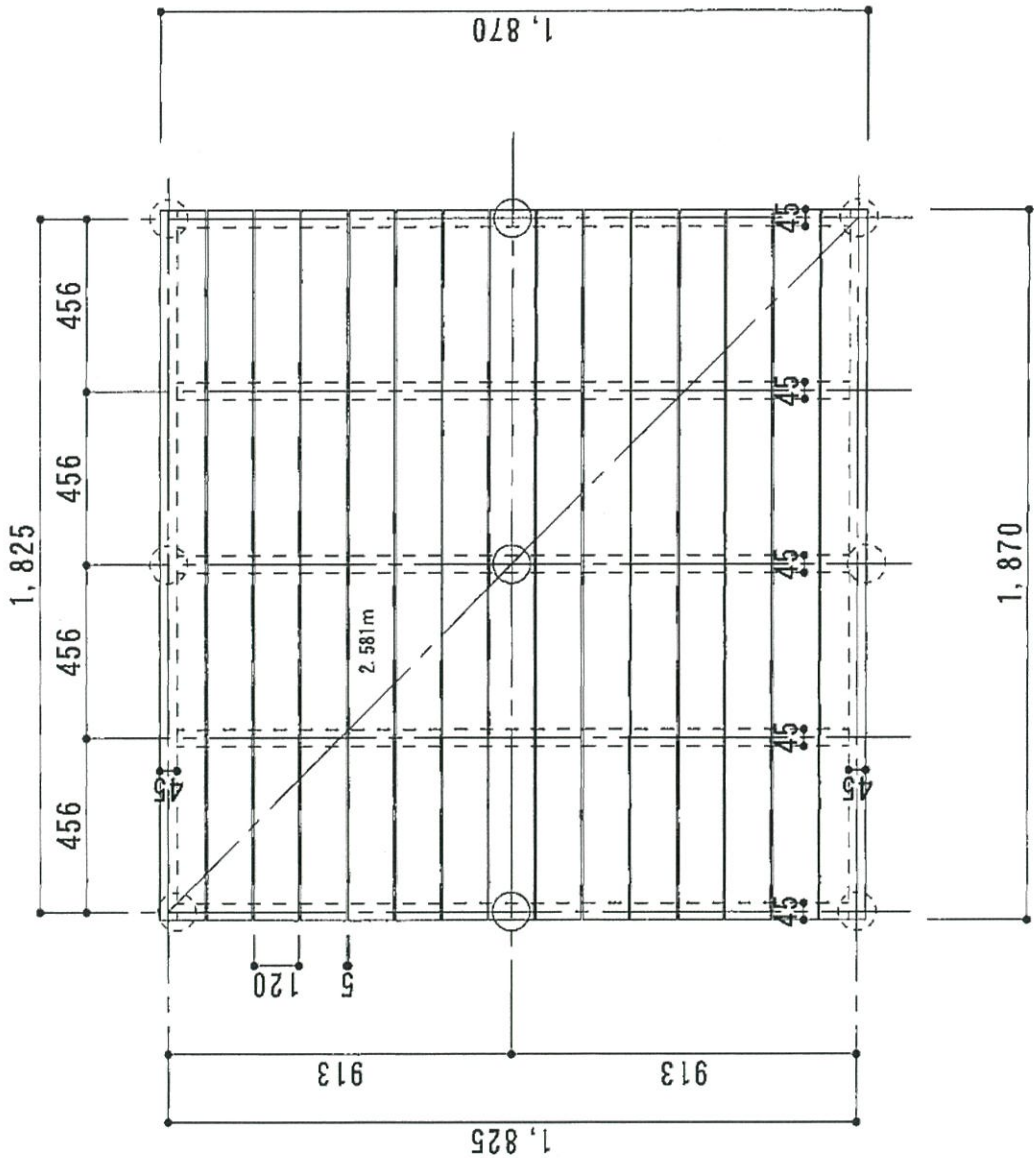
単位:人

小学校名	人数	中学校名	人数
丸山	533	飯田西	237
追手町	152	緑ヶ丘	704
浜井場	154	竜峽	139
座光寺	252	竜東	66
松尾	745	旭ヶ丘	612
三穂	74	鼎	349
伊賀良	900	高陵	452
山本	233	遠山	33
下久堅	167	飯田東	202
千代	47	松川	378
千栄	27	高森	458
龍江	127	阿南第一	75
上久堅	46	阿南第二	20
鼎	706	阿智	201
上郷	807	根羽	15
上村	9	下条	150
竜丘	386	売木	17
川路	93	天龍	13
和田	45	泰阜	45
松川中央	536		
松川北	128		
高森北	144	喬木	194
高森南	693	豊丘	206
和合	6	大鹿	18
和合日吉分校			
新野	35		
富草	58		
大下条	91		
清内路	24		
阿智第一	157		
阿智第二	89		
阿智第三	47		
浪合	38		
平谷	24		
根羽	22		
下条	203		
売木	31		
天龍	19		
泰阜	79		
喬木第一	318		
喬木第二	47		
豊丘北	285		
豊岡南	111		
大鹿	38		
計	8,726		4,584
合計	13,310		

安城市小中学校児童数一覧表

単位:人

小学校名	人数	中学校名	人数
桜井	900	安祥	571
桜町	650	安城北	853
里町	568	安城西	821
志貴	184	安城南	837
祥南	337	桜井	636
新田	444	篠目	713
丈山	660	東山	713
高棚	295	明祥	376
梨の里	499		
錦町	589		
二本木	800		
三河安城	598		
明和	388		
計	6,912	計	5,520
合計	12,432		



- 板 1.870*30*120 15枚
- 根太 1.870*45*105 2本
- 根太 1.780*45*105 5本

デッキ平面図 1/20